

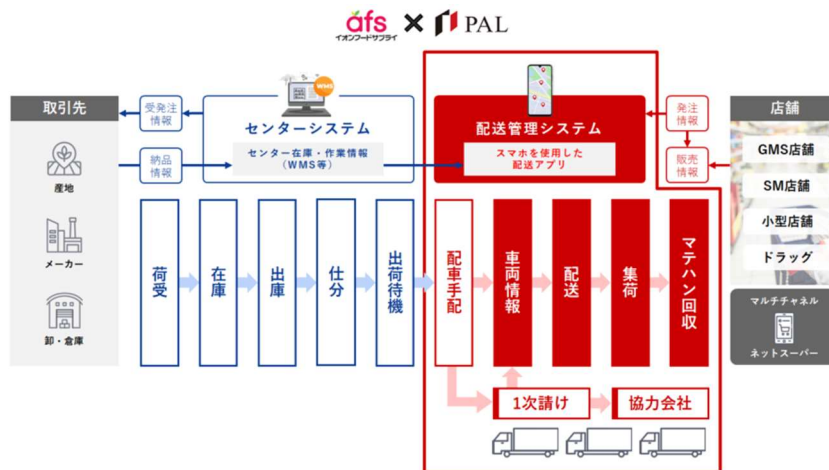
イオンフードサプライとPALは運送業務デジタル化で新たな協業を開始

イオンフードサプライ株式会社（千葉県船橋市、代表取締役社長 戸田茂則）は、株式会社PAL（大阪府大阪市、代表取締役 辻有吾）との間で、運送業務のデジタル化に向けた協業を開始致しました。

イオンフードサプライとPALは、2023年7月より運送業務のデジタル化に向けた運用開発（実運用現場での開発・実証）を行い、その結果を経て、運送業務のデジタル化（DigiTrucks：デジトラックス*1）を本格的に導入することについて2024年1月に合意しました。

実証結果では、無駄な荷待ち時間や非効率な店舗配送経路を特定し、業務効率化を通じ、トラック便数削減による物流費用削減などの成果が表れており、トラック稼働の見える化だけでなく、輸送効率の改善を実現できています。

この協業は、トラック運送事業者さまの協力を得て、運送業務の見える化と効率化を実現し、属人的な業務をシステム上で担っていくことで、生産性向上に繋がるものです。当社はこの取組みにより、持続可能な物流システムを目指して参ります。



*1 DigiTrucks：デジトラックス

デジトラックスとは、PALが開発したお客さまの物流戦略を総合的に支援する課題解決型のサービスです。

<PALについて>

PALは、ロジテックインテグレーターとして、ハードウェア・ソフトウェア・オペレーションの組織的機能を組み合わせ、物流現場のデジタル化、自動化の実現を通じ、お客さまのDX推進に取り組んでいます。

【本件に関するお問い合わせ】

ハンドリング部流通担当

(047) 774-3246